

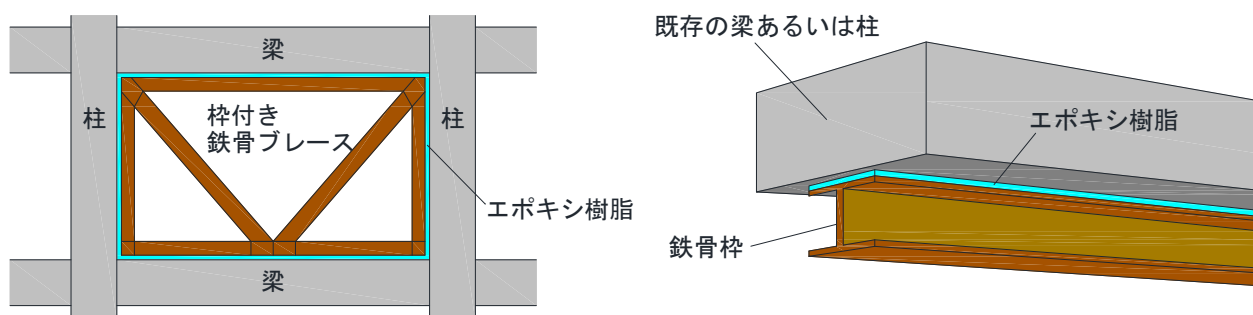
耐震補強工法

鉄骨ブレース接着工法

工法の概要

鉄骨ブレース接着工法は、既存の鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造建物の柱・梁骨組内に枠付き鉄骨ブレースなどをエポキシ樹脂で接着して一体化する耐震補強工法です。従来工法では既存躯体にあと施工アンカーを打設し鉄骨ブレースの一体化を図っていますが、接着工法では既存躯体(柱・梁)と鉄骨枠材をエポキシ樹脂で接着接合し一体化を図っています。

主な特長



鉄骨ブレース接着工法の概要図

1. 居ながら施工・短工期

- ・あと施工アンカーの使用は最小限であるため、工事中の騒音、振動、粉塵の発生が少なく、居ながら施工に適しています。
- ・あと施工アンカーを使用する従来工法と比較して工程が少ないため工期短縮が可能です。従来工法で1構面当たり12日程度のところ、本工法では8日程度で完了します。

2. 広範囲な適用対象

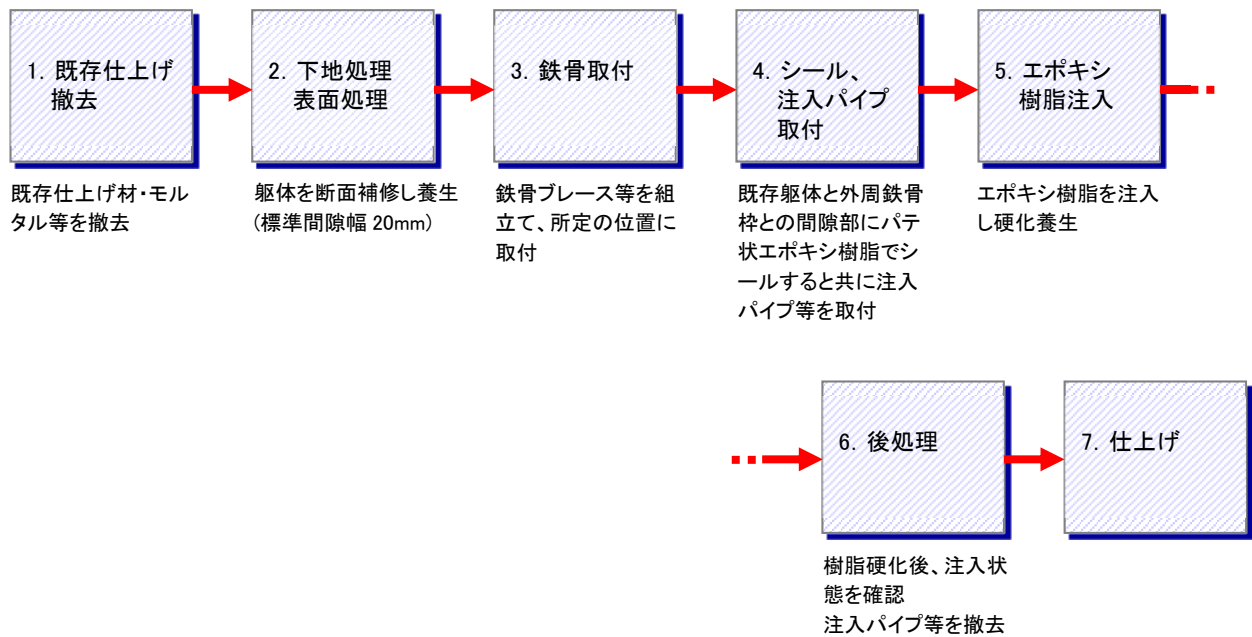
- ・補強対象建物は、鉄筋コンクリート(RC)造または鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)造です。
- ・SRC造建物では、あと施工アンカーの打設が柱・梁の内蔵鉄骨と干渉して困難な場合がありますが、接着工法では内蔵鉄骨との干渉は生じないため施工が容易です。
- ・補強部材は枠付き鉄骨ブレースのほか、鋼板壁、出入り開口付き鉄骨ブレース、斜材のない鉄骨フレームなどの形状が可能です。

3. 信頼の設計・施工

- ・本工法は、(一財)日本建築防災協会の技術評価(建防災発第17012号, 平成29年4月6日)を取得しており、株式会社竹中工務店より実施許諾を受けて施工を行っています。また、設計支援体制も整っています。

◎ 施工方法

鉄骨ブレース接着工法は、以下の施工フローで実施します。



◎ 使用材料

- シール材 : トーホーダイトS930 (パテ状エポキシ樹脂)
- 注入材 : トーホーダイトCP300T (液状エポキシ樹脂 低発熱・低臭気タイプ)
トーホーダイトCP300TH (液状エポキシ樹脂 耐熱タイプ)
- 断面補修材 : イーグルクリートGL-4H または U-リペアライト (ポリマーセメントモルタル)

◎ 施工例



株式会社東邦アーステック
建設事業本部

〒160-0022 東京都新宿区新宿 2 丁目 13-10 武蔵野ビル
TEL 03-5367-2661(代) FAX 03-5367-2666
<http://www.tohoearthtech.co.jp>



大阪 TEL 06-6886-8221(代)
FAX 06-6886-8228

仙台 TEL 022-781-5121(代)
FAX 022-781-5124